

平成25年度 第1回教育研修委員会 議事録

日 時: 2013年4月26日(金)12:00~13:00 / ラグナガーデンホテル 明海の間

出席者: 米 和徳(理事)、種市 洋(委員長)、大川 淳、星地 亜都司、竹林 庸雄、

田中 靖久、出沢 明、根尾 昌志 各委員

コングレ 鈴木 規史、恩田 南

欠 席: 中村 雅也、松山 幸弘 各委員

審議事項

1. 「第11回研修コース」について

- ・ 種市委員長より、ファイザー株式会社とエーザイ株式会社からの「共同開催」形式にて協賛金を集められたため、昨年度より40万の収入増となったことが説明された。
- ・ 上記のような「共同開催」形式の場合も、あくまで講師の選定など、コースのデザインに関わる事項は、教育研修委員会が決定権を持ち、企業は講師の選定を行えないことが再度確認された。
- ・ コングレ(運営事務局)より、4月26日(金)時点での参加者数をもとに、実行予算の詳細が報告され、承認された。
- ・ 研修コースと学会本体で座長・演者が重複して割り当てられたケースがあった。次回以降、学会のプログラム編集の際、研修コースとも重複がないように運営事務局(以下コングレ)にて調整を行うようにする。また重複があった際には、出来る限り研修コースを優先いただくことが確認された。

2. 「第12回研修コース」について

【定員について】

- ・ 種市委員長より、2015年の専門医更新対象者が700名以上いることから、第12、13回の定員を決めるに当たっては、**2011年(第9回)以降の研修コース受講者を対象に2015年7月の更新申請を見据え、すでに手術症例50例置換目的でコースを受講したかどうか、あるいは今後その予定しているかをアンケート調査する必要性が説明された。**
- ・ 上記アンケートは学会事務局より更新申請対象者に行い(同時に更新を前倒しできることを説明)、その結果を各委員へメールで報告、その後、最終的に12回の定員を決定することが承認された。

【会場について】

- ・ コングレ(運営事務局)より、京都リサーチパークでの開催案・予算案が説明された。
- ・ 参加者の移動の利便性を図るため、京都国際会館にて開催する場合も想定し、会場確保・予算についてコングレ(運営事務局)で確認し、再提案する。
- ・ 予算案は 例年規模案と 縮小案(コースを60名、コースを40名へ削減)の2案がコングレより提案され、差額が機材費に関わる約30万ということから、例年規模案にて進めることが承認された。

【コースについて】

- ・ コースは300㎡規模の広い会場を必要とするため、I~IIコースが国際会館で行われる場合でも、国際会館での開催が無理な場合は別会場(京都リサーチパーク等)で行うこともありうることが確認された。
- ・ コースは実習のみの開催とし、講義なしで開催可能とすることが承認された。

【日時・場所について】

- ・ 研修コースの開催日時は、学会本体3日目、プログラムが落ち着く11時頃からの開始とすることが承認された。
- ・ 上記の時間設定のため、講義の1番目を第11回コース同様のランチョン形式とすることが承認された。

【コースマネージについて】

- ・ 12回のコースマネージは、下記の通りの担当とすることで最終決定とされた。
コース 大川 淳 委員
コース 中村 雅也 委員(脊損の講義を入れることとする)
コース 出沢 明 委員
- ・ 出沢明委員が交代となる2014年3月までに、出沢委員より次の コースマネージおよび担当教育研修委員をご推薦いただく。日整会の内視鏡委員会に所属する担当者が望ましい。

3. クリニカルフェロー規約規定について

- ・ 第4章の標題を「クリニカル・フェロー認定」へ修正することが委員会提案として承認された。
- ・ 第16条中の「開催される学術集会期間中の会員総会において」を削除することが委員会提案として承認された。
- ・ 上記2点の理事会への手続きについては、星地委員(定款等検討委員長)にご担当いただくこととなった。

4. 次回の教育研修委員会の開催について

- ・ 2013年10月17日(木)(第28回日本整形外科学会基礎学術集会 1日目 於幕張メッセ)のランチョンセミナーの時間帯に開催とする。

以上

(文責・種市)